

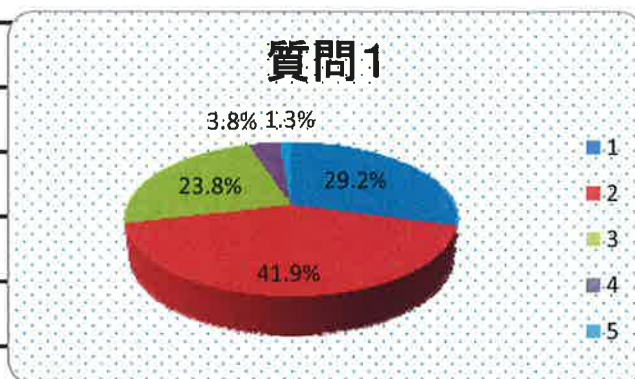
## 放射線に関する講演会アンケート結果

相馬に暮らす中学生が放射線について理解を深め、自分の健康と将来のためにどのような生活をすべきかを自覚してもらう目的で、東京大学医科学研究所の坪倉正治先生が平成24年12月から平成25年1月にかけて、市内中学校5校で講演をしてくださいました。その講演会を聴講した中学生にアンケートを実施しました。

対象 相馬市立中学校生徒 1012名 質問8は女子のみ520名

1 今回の講演で放射線について理解を深めることができましたか。

① 十分理解が深まった。
② おおよそ理解が深まった。
③ 半分くらい理解が深まった。
④ あまり理解ができなかった。
⑤ 全く理解できなかった。



2 講演を受けて、今後放射線に関して日常生活で注意を払っていきたいと思いましたか。

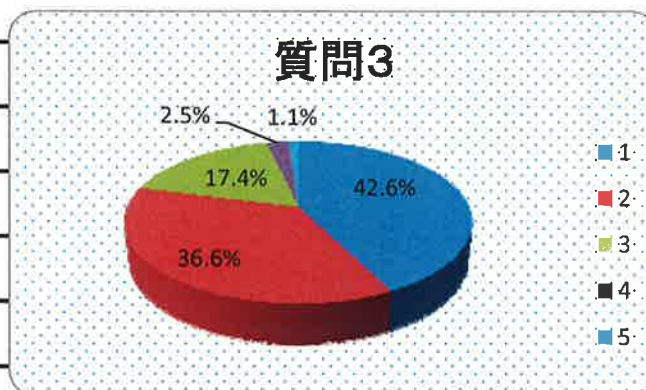
① いつも注意を払おうと思う。
② 注意を払う必要がないと思う。
③ わからない。



3 講演を受けて、  
 ①食品の検査をする、未検査のものを食べない。  
 ②線量が高い場所に長時間いない。③泥等家の中に持ち込まない。  
 ④手洗い・うがいをしっかり行う。⑤WBC検査、ガラスバッチ検査を受ける。

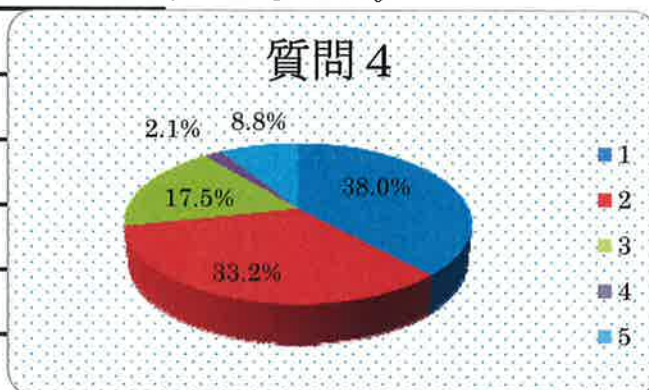
等の重要性が理解できましたか。

① 十分理解できた。
② おおよそ理解できた。
③ 半分くらい理解できた。
④ あまり理解ができなかった。
⑤ 全く理解できなかった。



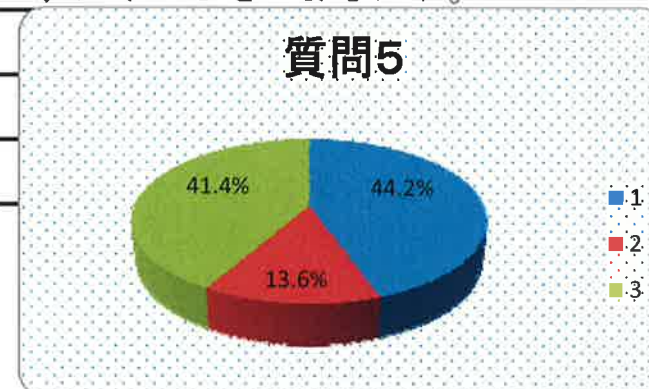
4 今まで自分が受けた検査が有効だったと思えましたか。

- ① 十分有効だと思った。
- ② おおよそ有効だと思った。
- ③ 少しは有効だと思った。
- ④ 有効ではないと思った。
- ⑤ わからない。



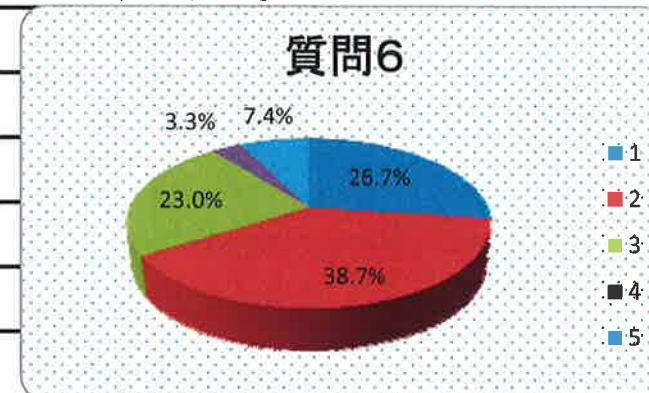
5 今まで受けた検査を今後も受けた方がよいと思えましたか。

- ① 定期的に受けたい。
- ② 受けたくない。
- ③ わからない。



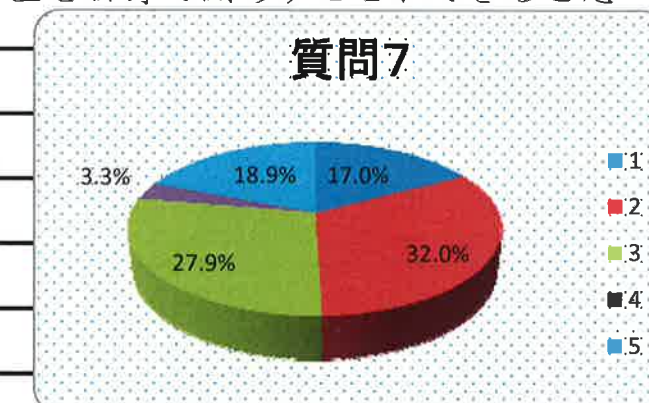
6 相馬市で将来生活することに不安はありますか。

- ① 全く不安はない。
- ② ほとんど不安はない。
- ③ 少し不安はある。
- ④ 大いに不安がある。
- ⑤ わからない。



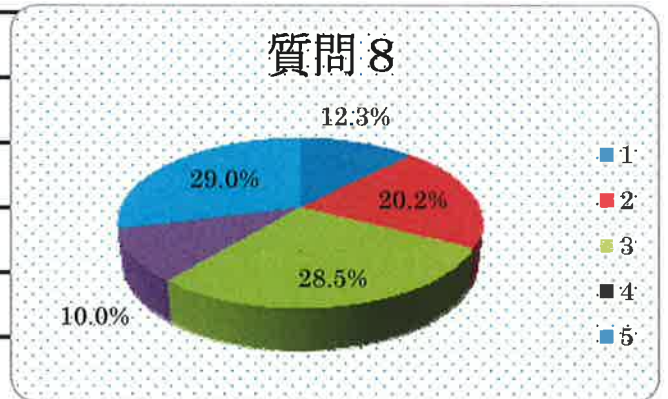
7 放射能をコントロールし、被ばく量を自身で減らすことができると思えますか。

- ① コントロールできるとは全く思わない。
- ② あまりコントロールできるとは思わない。
- ③ 少しはコントロールできると思う。
- ④ しっかりコントロールできると思う。
- ⑤ わからない。



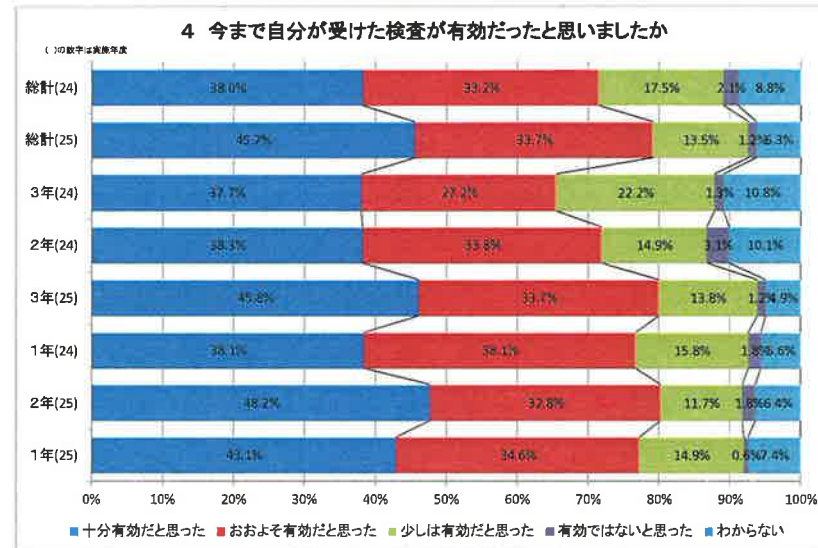
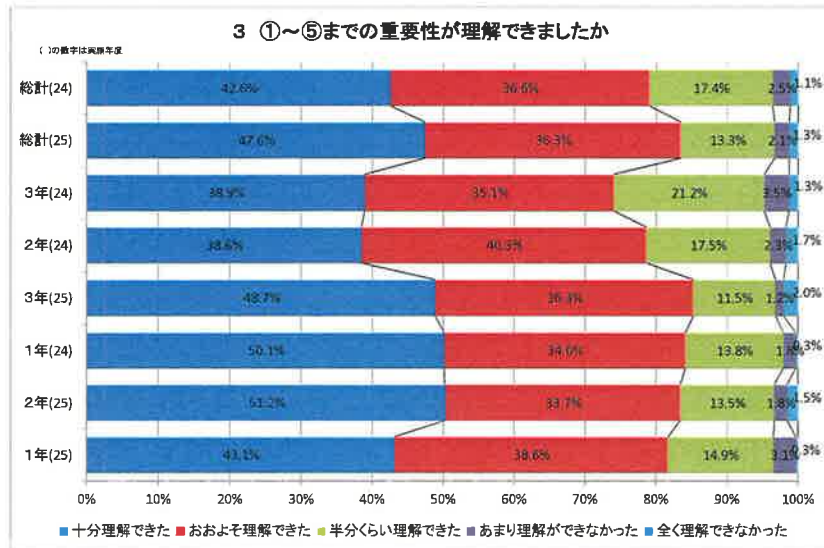
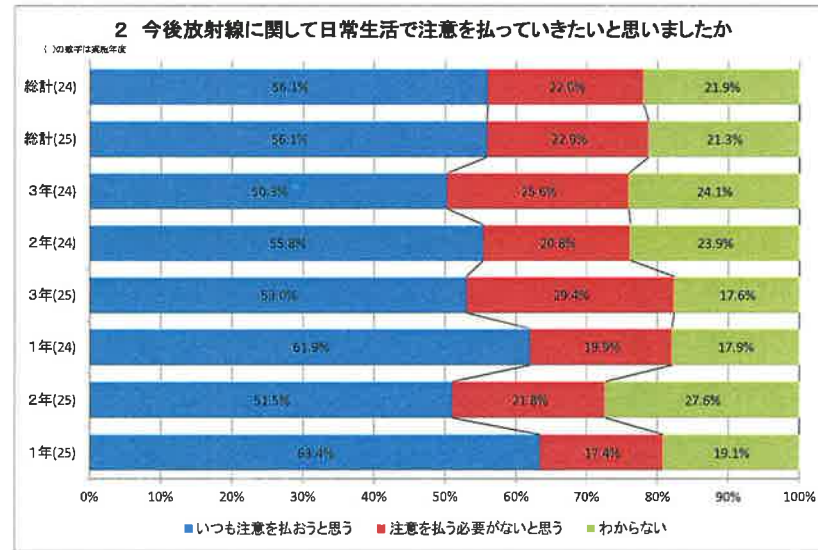
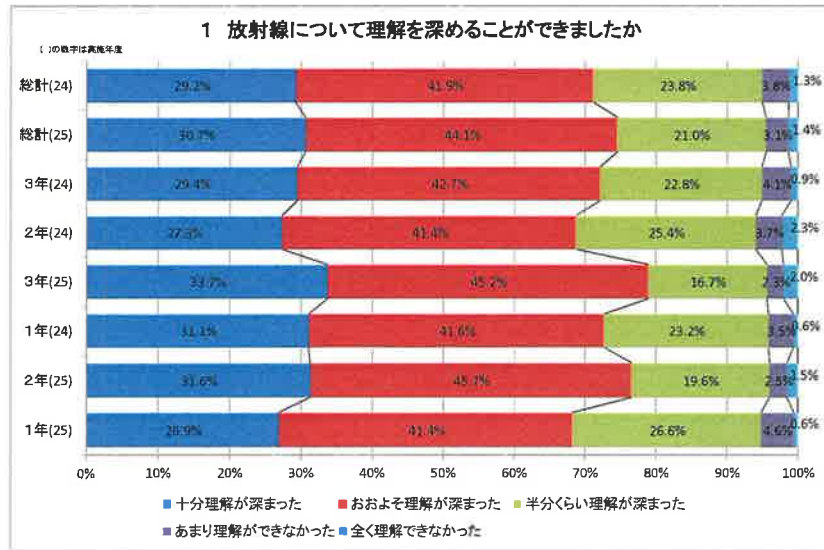
8 福島的女子は結婚の際、不利益な扱いを受ける等の風評被害がありますが、この講演を聴いて将来の不安が解消されましたか。(女子のみ回答してください。)

- |              |
|--------------|
| ① すべて解消された。  |
| ② ほとんど解消された  |
| ③ 少しは解消された。  |
| ④ あまり解消されない。 |
| ⑤ わからない。     |





24・25年度 放射線に関する講演会についてのアンケート結果の比較(グラフ)



24・25年度 放射線に関する講演会についてのアンケート結果の比較(グラフ)

